

町のシンボル



町鳥
ヒバリ

のどかな田園風景に似合うヒバリが空高く舞い上がる様は、これからの町の発展を象徴するといえます。また、皆に親しまれる身近な鳥であり、基幹産業が農業であるあさぎり町の象徴とも言える鳥として制定されました。



町木
ブナ

白髪岳に分布するブナは、温帯の山地に広く分布する落葉高木であり、その自然原生林は白髪岳が南限といわれています。白髪岳はあさぎり町のシンボリックな山であり、その名峰をとりまく白髪岳クマソ自然公園を代表する樹木であるブナを町木として制定されました。



町花
リュウキンカ

キンポウゲ科リュウキンカ属の多年草で、春先に黄色い花を咲かせるリュウキンカは、あさぎり町が国内での自生の南限といわれ、町民に「希望の春」を告げてくれる花として制定されました。

平成16年10月6日制定



町民憲章

わたくしたちあさぎり町民は

自然を愛し

水と緑ゆたかな町づくりにつとめます

歴史と伝統をまもり

文化の薫り高い町づくりにつとめます

和の心を大切に

明るい町づくりにつとめます

希望と夢ふくらむ

楽しい町づくりにつとめます

未来につながる

若い町づくりにつとめます

平成16年10月6日制定

町民からの応募作品の中で「平和」「自然」「発展」「健康」「教育」「伝統・文化」「人間愛」という内容すべてを含み、かつ簡潔で憲章としてもつとめやすい作品について一部補作を行い、「あさぎり町のキャッチフレーズである」若いまち 豊かなまち そして、夢ふくらむあさぎり町」を盛り込み制定されました。

概要

位置と地勢

あさぎり町は、熊本県の南部、球磨盆地の中央に位置し、南は宮崎県えびの市と小林市と接しています。町内を日本三急流のひとつに数えられている球磨川、国道219号、くま川鉄道が東西に走っています。

地勢は、盆地の中央部分を縦割りする形で町の北と南側が山間部となっており、両側の山間部から流れ込む球磨川の支流に沿った形で緩やかな平地を形成しています。

気候

あさぎり町の気候は、比較的温暖多雨となっていますが、盆地特有の内陸性気候となっており、年間を通して霧の発生が多い地域でもあります。

面積

あさぎり町は、南北22.5km、東西11.2kmで南北に長い楕円形のような形をしており、面積は159.49km²(熊本県域の約2.15%)で、約19%が農地、約65%が山林となっています。

人口と世帯

あさぎり町の人口は、17,751人(平成12年国勢調査の合計値)となっており、平成7年と比べると約4.5%の減少となっています。